

# 波多利朗の Funky Goods

# 愛しのFunky小物 コレクション

<その1>

## 注1) EduCALC

本連載にもたびたび登場した、アメリカにあるパームトップ専門の通信販売会社。電卓、パームトップ、ラップトップパソコンを主に扱っており、筆者もよく利用する。HPの製品が多い。

パームトップ関連では、HP200LXを始めとして、PSION SERIES 3aやPTV-30などを購入することが可能だ。最近では、HPのOmniBook 600Cが人気があるようだ。

以下に連絡先を示す。

EduCALC

27953 Cabot Rd.

Laguna Niguel, CA92677

TEL: 714-582-2637

FAX: 714-582-1445

## 注2) 229ドルで購入した

EduCALC Catalog # 66  
でのTravel Floppy 144の  
品番と価格は、以下のとおり。

Travel Floppy 1.44 Stock  
#3051 [Travel Floppy]  
229ドル

## 注3) PCMCIAソケット経由で供給する

パソコン本体を電池で駆動している場合は、Travel Floppy 144の電源を、PCMCIA経由でパソコン本体から供給するとバッテリーの消費が激しくなるので、注意が必要だ。

当初6回程度で予定で開始した本連載も、今回で15回目を迎える。毎回ジャンクな記事ばかりを書いてきたこの連載であるが、そろそろタネが尽きてきた。その間、いろいろと小物が集まったので、今回はそれらをご紹介します。

## Travel Floppy 144

「Travel Floppy 144」は、PCMCIAスロットを利用した、外付けのフロッピードライブユニットである。アメリカ・カリフォルニアにある ACCURITE TECHNOLOGIES INC. 社の製品で、同じくアメリカにあるパームトップ専門の通販会社、EduCALC(注1)より229ドルで購入した(注2)。

ME-386などのパームトップパソコンを使用していると、外付けFDDがないため不便に思うことがある。筆者は以前、HP-95LX専用の外付けFDDである「Drive 95」をME-386に接続する方法を紹介したことがあったが(1995年3月号)、この方法では、シリアルインターフェイスを使用してデータ転送を行うため、転送レートが9600bps程度と、かなり遅いものであった。容量の少ないファイルならばこの方法でもなんとかなるが、大容量のファイルを転送する場合にはつらいものがある。

今回ご紹介するものは、PCMCIAスロットに接続するタイプの外付けFDDで、通常のFDDと変わらない速

度でデータのやりとりを行うことができる。

「Travel Floppy 144」の商品構成は、以下のとおりである(写真1)。

- ・Travel Floppy 144ドライブ本体
- ・PCMCIAインターフェイスカード(Passport Card Floppy Disk Controller)
- ・ACアダプタ(120V入力タイプ)
- ・ユーティリティソフトが入ったFD 1枚

PCMCIAインターフェイスカードは、Passport Cardという名称が付いているだけあって、デザインもパスポートのようで、なかなかオシャレである(写真2)。

ハードウェアのインストールは簡単だ。Passport Cardと呼ばれるPCMCIAインターフェイスカードをパソコンのPCMCIAスロットに挿入し、Travel Floppy 144ドライブ本体をカードに接続すればよい。

ドライブの電源は、接続したホストコンピュータからPCMCIAソケット経由で供給する(注3)ほかに、付属のACアダプタからも供給可能で、切り換えはフロッピードライブ本体背面にあるスイッチで行う(写真3)。

機器の接続が終わったら、ソフトウェアのインストールを行う。「Travel Floppy 144」を使用するためには、添付のFDに格納されているドライバソフトを使用する。もちろん、使用するパソコンにPCMCIAソケットサービスおよびカードサービスソフトウェアがインストールされている必要があることは、言うまでもない。

使用するデバイスドライバには2種類ある。PPCFD.SYSが通常のPC/AT互換機で使用するためのドライバで、PPCFD100.SYSがHP-100LX専用のドライバとなっている。

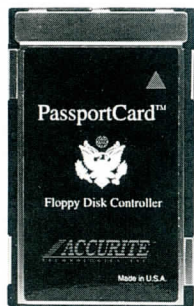


写真2 Passport Card

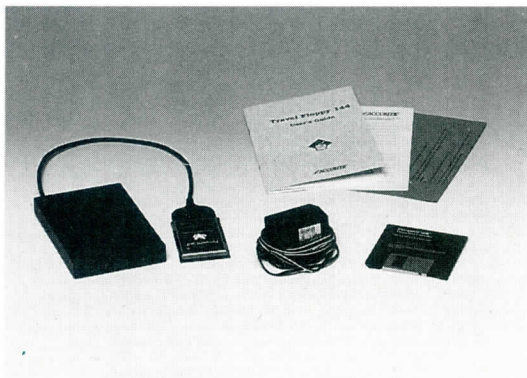


写真1 Travel Floppy 144の商品構成

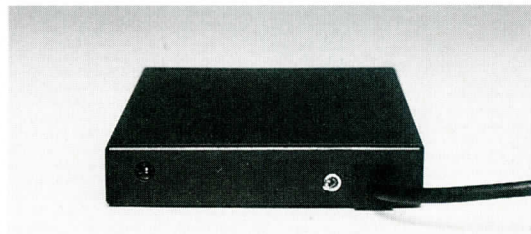


写真3 Travel Floppy 144背面にある電源供給切り換えスイッチ





写真4 IBM TP220に、2基のFDDを接続する

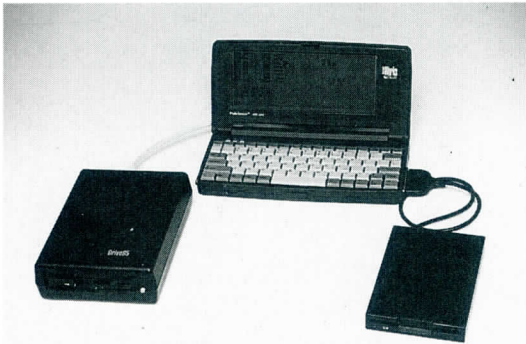


写真5 ME-386に、Travel Floppy 144とDrive 95を接続する

COPYコマンドは使用できないが、FD間のファイル転送ができて便利だ(写真4)。

次に、ME-386に接続してみた。今回はPCMCIAのカードスロットAに、10MBのEPSON FLASH PACKERを挿入し、カードスロットBに、「Travel Floppy 144」を接続してみたが、問題なく使用することができた。

悪ノリして、ME-386に以前紹介した「Drive 95」と「Travel Floppy 144」の両方を接続してみた(だからなんだって言われると困るのだが(^\_^;) (写真5)。こうすると、ME-386にも2基のFDDを接続することができる。もちろん、2基のFDD間のファイル転送も、問題なく行われた(ちなみに筆者のME-386の環境では、Drive 95が「L」ドライブに、Travel Floppy 144が「J」ドライブにアサインされている)。

「Travel Floppy 144」を使用してのFDのフォーマットも、1.44MBはもちろんのこと720KBフォーマットも正常に実行できる。もし、なんらかの問題でDOSのFORMAT.EXEが使用できない場合のために、添付のFDには専用のフォーマットユーティリティソフト「ACCFMT.EXE」が入っている。

添付のFDに入っているドライバソフトは、以下のとおりである。

- ・PPCFD.SYS: Travel Floppy 144ドライバ(PC/AT互換機用)
- ・PPCFD100.SYS: Travel Floppy 144ドライバ(HP-100LX専用)
- ・ACCFMT.EXE: FDDフォーマットユーティリティ
- ・CLEXE: カードサービスインフォメーションユーティリティ
- ・FINDPPC.COM: Travel Floppy 144の割り当て状況を表示するユーティリティ

なお、上記に示したユーティリティソフトは、ME-386上のCGA画面でもすべて正常に動作する(写真6)。

ドライバの登録は、CONFIG.SYSに以下の記述を行う。

DEVICE = C:\¥PPCFD.SYS(通常のPC/AT互換機を使用する場合)

または、

DEVICE = C:\¥PPCFD100.SYS(HP-100LXを使用する場合)

このドライバを登録することにより、Travel Floppy 144に論理ドライブがひとつ割り振られる。

ここで注意することは、CONFIG.SYS中にLASTDRIVEを指定しておくことだ。LASTDRIVEの指定は、Travel Floppy 144が割り当てられる論理ドライブ以降の番号を指定しておく必要がある。

なお、PPCFD.SYSのメモリ常駐量は、8784バイトである。

以上でインストールは完了し、後はシステムをリブートすれば、「Travel Floppy 144」がDOSから使用できるようになる。

今回はこのFDDを、IBM ThinkPad 220と筆者が溺愛するTidalwave社のパームトップPC、ME-386に接続してみた。

IBM ThinkPad 220は、標準でFDDが接続できるようになっているが、「Travel Floppy 144」も併用することで、FDDを2基接続することができる。DISK

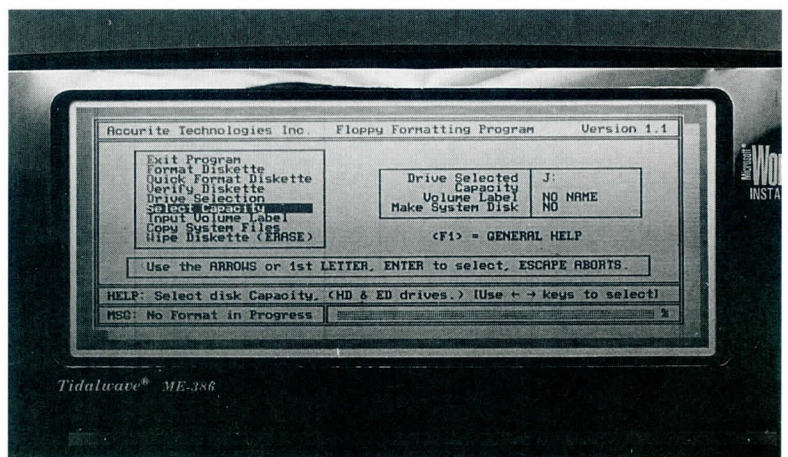


写真6 ME-386上でACCFMT.EXEを起動する



## ThinCard Drive TMD-650

注4)外付けのPCMCIA  
カードドライブ

評価では、AMI BIOS、  
AWARD BIOSの2種類の  
マシンに接続し、パラレル  
ポートも4種類のマルチ  
I/Oカードを使用して行っ  
てみたが、特に相性問題は  
生じなかった。

注5)価格は189ドルであ  
った

EduCALC Catalog # 66  
でのThinCard Drive TMD  
-650の品番と価格は、以  
下のとおり。  
External PC Card Drive  
Stock #TMD650  
[PC Card Drive]  
189ドル

「ThinCard Drive TMD-650」は、ニューヨークにあ  
るDATABOOK INCORPORATED社が発売する、  
外付けのPCMCIAカードドライブ(注4)である。デスク  
トップパソコンのプリンタポートに接続して、PCMCIA  
カードとのデータのやりとりを行うためのユニットだ。

この手のPCMCIAカードドライブは、ケースに内蔵  
するタイプが多く見受けられる。内蔵型は、専用のイン  
ターフェイスカードをマザーボードのスロットに挿して  
ベイにドライブをマウントするため、設置作業に手間が  
かかるが、「TMD-650」はプリンタポートに接続するだ  
けなので設置は簡単である。これも同じくアメリカのパ  
ームトップ専門の通販会社、EduCALCから購入した。  
価格は189ドルであった(注5)。

「ThinCard Drive TMD-650」の商品構成は、以下の  
とおりである(写真7)。

- ・カードドライブ本体
- ・接続用ケーブル
- ・ユーザーズマニュアル
- ・ドライバソフトFD 1枚(CARDTALK SOFTWARE)
- ・ACアダプタ

カードドライブ本体前面パネルを持ち上げると、  
PCMCIAカード挿入口が現れる。「TMD-650」では、  
Type I、II、IIIのPCMCIAカードをサポートしている。  
Type IIIまでサポートしているため、カード挿入口  
はかなり大きい(写真8)。

パソコン本体との接続は簡単で、付属のケーブルで、パ  
ソコンのプリンタポートと「TMD-650」の背面にある“CO  
MPUTER”と書かれたコネクタとを接続するだけでよい。  
プリンタも接続する場合には、「TMD-650」の背面にあ  
る“PRINTER”と書かれたコネクタに接続する(写真9)。



写真7 ThinCard Drive TMD-650の商品構成

電源は、専用のACアダプタを使用する。ACアダプ  
タは、入力120V、出力15Vのタイプのものだ。

本体の接続が終了したら、次にソフトウェアのインス  
トールを行う。ドライバソフトは、CARDTALKと呼  
ばれるソフトウェアで供給されている。インストールは、  
英語モードに変更したのち、専用のインストーラを使用  
して行う。この時注意する点は、すでにパソコンのなか  
に他社製品のカード/ソケットサービスソフトが入って  
いる場合には、これらを外しておくことである。

インストーラでは、導入時のディレクトリ設定や、  
Windows上でのGUIソフトであるCardTalk Contro  
l Panelの導入の指定、Microsoft Flash File System  
の導入の指定、プリンタポートの設定、プリンタポート  
のモードの指定(EPPモードかSPPモードかの設定)な  
どが行える。

インストールを実行すると、CONFIG.SYSファイ  
ル中に、以下のドライブが追加される。

```
DEVICEHIGH=C:¥CARDTALK¥SSPPORT.S  
YS /lpt:1
```

```
DEVICEHIGH=C:¥CARDTALK¥CTALKCS.E  
XE
```

```
DEVICEHIGH=C:¥CARDTALK¥CARDTALK.  
SYS /A /MEMW /IOW
```

```
DEVICEHIGH=C:¥CARDTALK¥MS-FLASH.  
SYS
```

各ドライブの意味は、以下のとおりである。

SSPPORT.SYS : PCMCIA Socket Services Paralle  
l-Port device driver

CTALKCS.EXE : PCMCIA Card Services device  
driver

CARDTALK.SYS : Super Client device driver

MS-FLASH.SYS : Microsoft Flash System Ver-

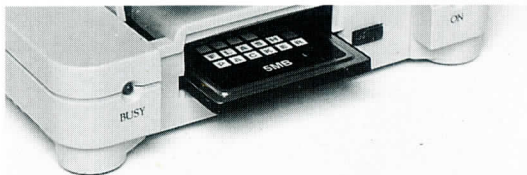


写真8 ThinCard Drive TMD-650のカード挿入口

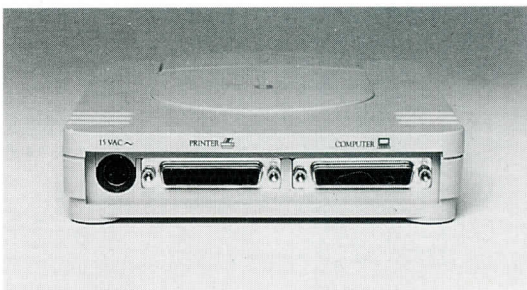


写真9 ThinCard Drive TMD-650の背面コネクタ部分



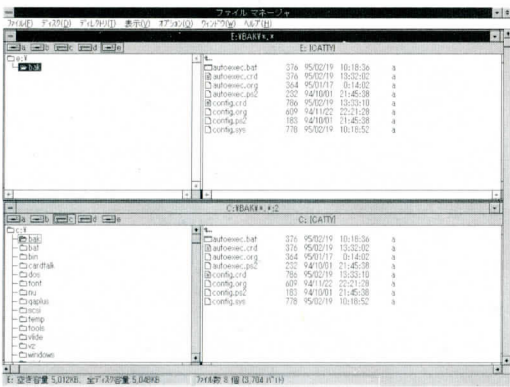


写真10 Windows上のファイルマネージャでFDDとして認識されている画面



写真11 なにも入っていないときは「Socket # 1 Empty」と表示される

sion 2.0 (FFS 2) driver

以上でソフトウェアの導入は終了し、あとはパソコンをリブートすると、PCMCIAソケットに論理ドライブが割り振られて、DOS上から使用できるようになる。常駐するドライブが多いため、これらのドライブがコンベンショナルメモリに降りてきた場合には、かなりメモリ空間を圧迫することになる。したがって、QEMMなどのメモリ管理ソフトを使用したほうがよいかもかもしれない。

Windowsのファイルマネージャでは、「TMD-650」のPCMCIAドライブはFDDとして認識され、ファイルの転送などは通常のドライブと同様に行える。このあたりは、非常に便利である(写真10)。

また、Windows上のGUIソフトであるCardTalk Control Panelを使用すると、PCMCIAソケットの状態をモニタすることができる。ソケットにカードをなにも入れてないと、表示はEmptyとなっている(写真11)。

ここで、EPSONの5MBのFLASH PACKERカードを挿入すると、自動的に認識しビープ音が鳴って表示がATA Cardになる(写真12)。この状態では、挿入されたカードの詳細情報を表示することも可能だ(写真13)。当然、カードを抜くと表示は再びEmptyに変わる。

筆者は他の種類のカードを持っていないので、FLASH PACKERしか試していないが、マニュアル

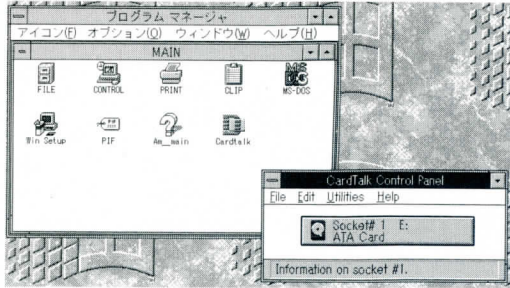


写真12 EPSONのFLASH PACKERカードを挿入すると、自動的に認識され、「ATA Card」と表示された

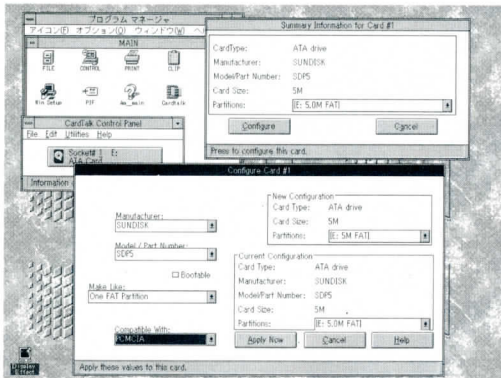


写真13 FLASH PACKERを挿入したときの詳細情報

ではSRAMカードやTypeIIIのハードディスクカードも使用可能となっている。

冗談半分で以前ご紹介した「Pocket Disk」(注6)を入れてみたところ、しばらく考え込んでから「Unknown Card Type」と出力してきた。さすがに規格外の製品なので、使用することはできなかったが、詳細情報をみると製造元であるBONDWEL社と型番であるB232は認識していた(写真14、15)。

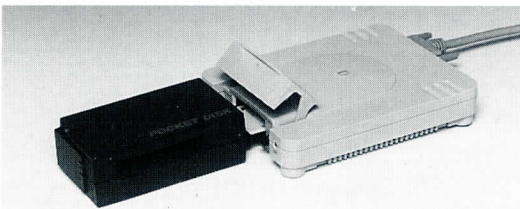


写真14 ThinCard Drive TMD-650にPocket Diskを接続する

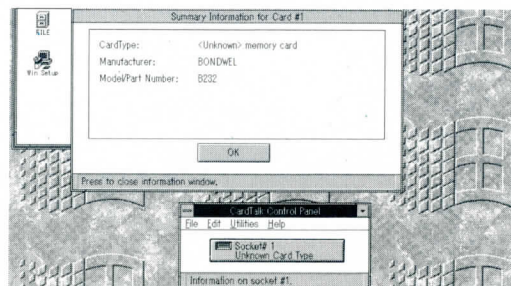


写真15 規格外なので使用できなかったが、製造元と型番だけは認識していた

注6)Pocket Disk

本誌1995年3月号の「波多利朗の Funky Goods バームトップパソコン ME-386にいろいろつなぐ」でもふれた、PCMCIAカードスロットに外付けの2.5インチHDDを接続するための変態グッズ。

秋葉原では、T・ZONE ミナミで扱っているが、かなり怪しく、かつ危ない製品であるにもかかわらず、入荷するとすぐに売り切れてしまうほどの人気を呼んでいるそうである。世の中、廃人さんは多いようで困ったもんだ。



## P.C.AIR CONDITIONER

「P.CAIR CONDITIONER」は、昨年11月に訪れたCOMDEX Fallの会場で見つけたFunkyGoodsである。その概要は、本誌2月号に掲載した「波多利朗の裏コムデックスレポート」で紹介したが、このほど製造元の台湾JNC COMPUTER CORP.(健群電腦有限公司)注7)よりサンプルが届いたので、紹介する。

「P.CAIR CONDITIONER」は、ファンの個数と吸気型か排気型かの種類で、4種類に分かれる。その商品体系は表1のとおりである(写真16)。

「P.CAIR CONDITIONER」は、マザーボード上のバス・スロットに挿入する冷却ファン付きのカードである。カードそのものがダクトとなっていて、PC本体にこもった熱気を排気したり、ケース外部の空気を吸気する(写真17)。

この製品のよくできているところは、ファンの電源をバス・スロットから供給するのではなく、電源コネクタを介して独立に供給するところである。こうすれば、マザーボードの電源に負荷がかからなくてすむ。さらに、バス・スロットへの挿入方向を、上下逆にするにより、ファンの向きを変えられることができる点も、なかなかよく考えられている。

今回は、この「P.CAIR CONDITIONER」を以前本連載で紹介した「SyQuest Driveを使用したマシンの製作」(注8)で用いたプラスチック製ケースに取り付けてみることにした(写真18)。

このケースは長時間使用していると熱気がこもるた

| 型番           | ファンの数 | 動作  | 価格(ドル) |
|--------------|-------|-----|--------|
| JNC P.CA/C-1 | 1     | 排気型 | 6.90   |
| JNC P.CA/C-2 | 2     | 排気型 | 9.90   |
| JNC P.CA/C-3 | 1     | 吸気型 | 6.90   |
| JNC P.CA/C-4 | 2     | 吸気型 | 9.90   |

表1 「P.CAIR CONDITIONER」の商品体系

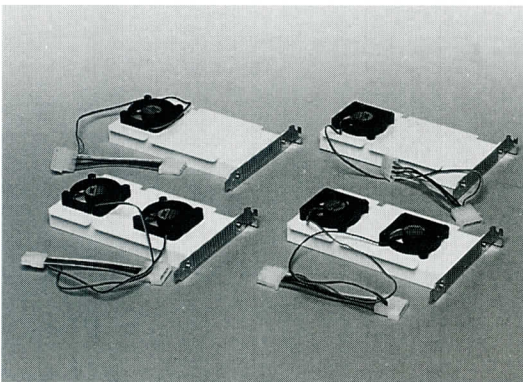


写真16 4種類のP.CAIR CONDITIONER

め、DC FANを買ってきてケースの前面パネル裏に取り付けていたが、ファンの音がうるさくて困っていたところであった。

今回、このファンの代わりに吸気型の「P.CAIR CONDITIONER」を取り付けてみたが、動作音が気にならないほどに低減し、静かなマシンに変身した。いまのところファンが1個のタイプを使用しているが、冷却効果は十分である。

なかなかよく考えられたユニークな製品であるが、ひとつだけ残念な点がある。バス・スロットを2個占有してしまうことだ。実際にカードを挿入するのは1スロットだけなのだが、カードそのものに厚みがあるため隣りのスロットも使えなくなってしまう。まあ、これは構造上いたしかたないのであろう。

さて、この記事を書いている最中に、JNC COMPUTER CORP.から早くもP.CAIR CONDITIONERの新製品カタログが送られてきた(写真19)。新製品の最大の特徴は、ダクト部分が伸び縮みし、ファンの位置を自由に設定できることである(表2)。

冷却用ファンひとつとっても、いろいろと考えられているものだ。奥が深い。

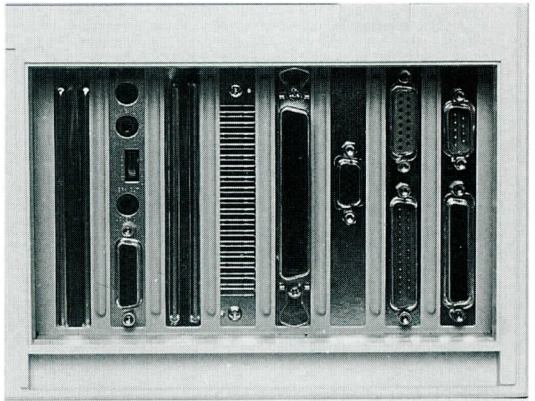


写真17 ケース背面から、P.CAIR CONDITIONERの吸気口を見たところ

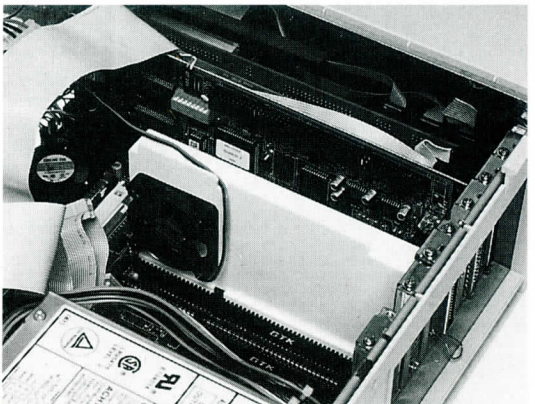


写真18 P.CAIR CONDITIONERをSyQuest Driveマシンに装着したところ

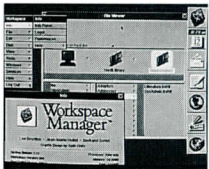
注7) JNC COMPUTER CORP.(健群電腦有限公司)

以下に連絡先を示す。  
JNC COMPUTER CORP.  
(健群電腦有限公司)  
P.O. BOX 2-93 PAN  
CHIAO CITY, TAIPEI, TAI-  
WAN, R.O.C.  
TEL: (02) 263-2276, 265  
-4247, 266-0050  
FAX: (02) 262-0014, 265  
-8253

注8) 「SyQuest Driveを使用したマシンの製作」

本誌1995年1月号および2月号参照。

なお、その後同マシンでは、NEXTSTEP RELEASE 3.2J FOR INTEL PROCESSORも動作したことをつけ加えておく。



▲NEXTSTEP RELEASE 3.2J FOR INTEL PROCESSORの画面



## PSION SERIES 3a日本語ビューワ

最後に、ちょっと面白いものをご紹介します。

「PSION SERIES 3a」は、パームトップPCとしては非常に小型軽量の部類に属する。またデザインも凝っており、なかなかオシャレなマシンだ(写真20)。

「PSION SERIES 3a」は、いわゆるPC/AT互換機ではないこともあってまだ日本語環境が整備されていないが、このほど筆者の知人でパームトップ魔人のKerberos氏が、PSION専用のソフトウェア開発キットを使用して、日本語ビューワを制作したのでご紹介する。

PSIONのソフトウェア開発キットは、Cコンパイラ+ライブラリのかたちで供給されている。Cコンパイラは、Top Speed C Version 3.10.002を使用する。このCコンパイラ+ライブラリのキットは、「C」SOFTWARE DEVELOPMENT KIT」という名称で販売されており、価格は325ドルである。ニューヨークにあるNEW WORLD TECHNOLOGIES, INC(注9)から購入することができる(写真21)。

今回ご紹介するPSION日本語ビューワは、この開発

キットで作成されている。

PSIONのメイン画面の(魔)マークのアイコン(写真22)を選択すると、日本語ビューワが起動する。読み込むファイルは、ブラウザを使用して選択することが可能だ(写真23)。

ここで、読み込むファイルを指定すれば、日本語でファイル内容を閲覧することができる(写真24)。またベータ版とのことで公開していないが、今後が楽しみである。

波多利朗の  
Funky Goods

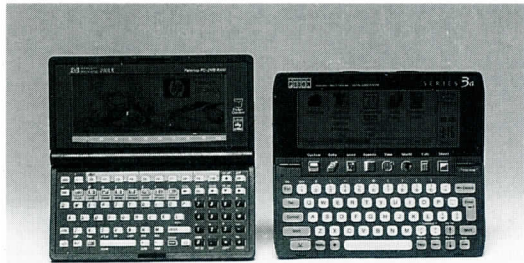


写真20 PSION SERIES 3aとHP200LX

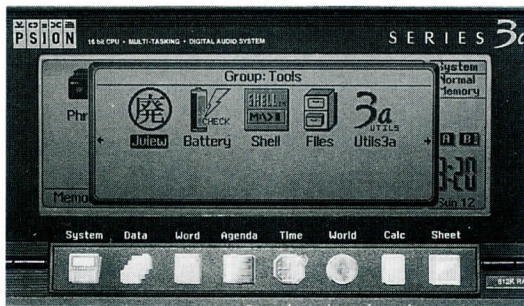


写真22 PSION上で日本語ビューワのアイコンが表示されている

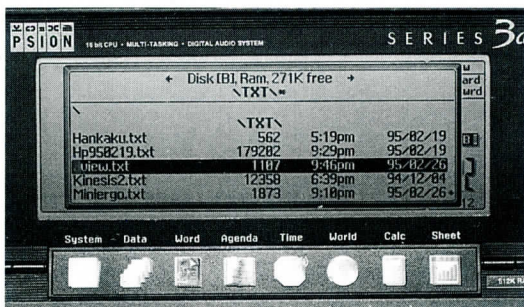


写真23 PSION日本語ビューワのファイルブラウザ画面



写真24 PSION日本語ビューワでテキストファイルを表示させたところ

注9) NEW WORLD TECHNOLOGIES, INC.

PSIONを専門に取り扱っている会社。以下に連絡先を示す。

NEW WORLD TECHNOLOGIES, INC

TEL: 212-941-4633

FAX: 212-274-8527

EMAIL: COMPUSERVE: 72360,3653

AOL: JonathaNEW

INTERNET: jonty@pipe-line.com

ADDRESS: 110 Greene

St., Suite 1100 New

York, NY 10012

MAIL: New World Technologies, Inc. 532 La

Guardia Place, Suite 150

New York, NY 10012

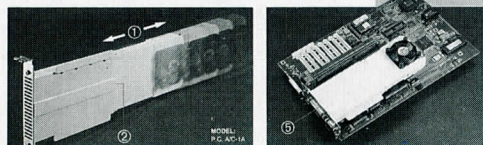
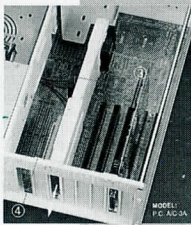


写真21 PSIONのソフトウェア開発キット

### SPECIFICATIONS

| MODEL          | DIMENSION (LxWxH) | FUNCTION                                      | PACKING                                     | REMARK  |
|----------------|-------------------|---|---|---|
| JNC P.C.A/C-1A | 259x90x21mm       | • EXTENDABLE EXHAUST<br>• FAN x 1             | 40CTN 1.75 CUFT<br>NW 138 gPC<br>GW 188 gPC | • FAN W/TV. UL<br>CSA APPROVAL<br>• BLOW FAN WILL BE OPTIONAL AT ORDER REQUEST<br>• SOCKET FOR PC<br>• FOR ANOTHER AIR SUCTION FUNCTION |
| JNC P.C.A/C-2A | - DITTO -         | • EXTENDABLE EXHAUST<br>• FAN x 2             | 40CTN 1.75 CUFT<br>NW 153 gPC<br>GW 196 gPC |   |
| JNC P.C.A/C-3A | - DITTO -         | • EXTENDABLE EXHAUST<br>• FAN x 2 (BOTH SIDE) | 40CTN 1.75 CUFT<br>NW 163 gPC<br>GW 196 gPC |   |

1. INSERTING INTO ANY SLOT HOLE, HOT AIR INSIDE CASE WILL SMOOTHLY TRANSIT OUT OF BOX.
2. OCCUPYING ONLY ONE SLOT HOLE!
3. THE SUB AIR-DUCT CAN BE EASILY DETACHED AND REVERSED, IN ORDER TO SELECT BEST FAN DIRECTION FOR COOLING.
4. SUB AIR DUCT CAN BE ALSO FREELY EXTENDED TO THE LENGTH AS IT SHOWS.
5. AT THE DEEP BOTTOM OF MAIN AIR DUCT, THERE IS ONE SMALL "BOSS" DESIGN. SO, WHILE PULLING, THE SUB AIR DUCT WILL NOT FALL OFF.
6. AIR DUCT CAN BE LONG STRETCHING OVER CPU AND IMMEDIATELY EXHAUST HOT AIR FROM CPU, OR EVEN SUCK COLD AIR IN.
7. PC A/C-3A WITH FANS INSTALLED BOTH AIR DUCT SIDE. HAS THE MUCH EFFECTIVE AND CONVINCING FUNCTIONS IN PC COOLING.
8. SOCKET # FOR TRANSITIONING PURPOSE, CAN BE WELL FIT ON PC MB.
9. PC A/C WITH UNIQUE CHARACTER OF FLEXIBILITY AND EXTENSIBILITY. SUITS FOR ALL DIFFERENT DIM. SIZE OF CASES.
10. FOR LANSTATION, SLIM CASES, USUALLY WE PUT THE AIR CONDITIONER ON THE UPPER SLOT POSITION, THE REASONS: A. IT ONLY TAKES ONE SLOT POSITION.  
B. BECAUSE HOT AIR ALWAYS UPDRAFTING, AIR-TRANSITION CAN BE MUCH EFFECTIVELY WORKING.
11. SLOT COVER HOLE MEETS THE SAFETY SPECIFICATION # 5.
12. ADAPTING ALL DIFFERENT KINDS OF PC, BIG COMMERCIAL AND INDUSTRY SYSTEMS AS WELL.
13. FAN DIAMETER 50x50x10 MM.



JNC COMPUTER CORP.  
NO. 47, CHING-LO STREET, TILCHENG CITY, TAIPEI, TAIWAN, P.O.C.  
TEL: 886-2-2620174, 266-4878, 266-60202  
FAX: 886-2-2620114, 2666233  
P.O. BOX 219, PAN-CHANG CITY, TAIPEI, TAIWAN, R.O.C.

写真19 P.CAIR CONDITIONERの新製品カタログ

| 型番             | ファンの数 | 動作           |
|----------------|-------|--------------|
| JNC P.C.A/C-1A | 1     | 排気型 伸縮自在     |
| JNC P.C.A/C-2A | 2     | 排気型 伸縮自在     |
| JNC P.C.A/C-3A | 2     | 両面にファンがあるタイプ |

表2 「P.CAIR CONDITIONER」新製品の商品体系